

社会福祉法人塩釜市社会福祉協議会
令和3年度第4回小規模多機能型居宅介護松ぼっくり運営推進会議
議事録

1. 日 時 令和4年3月28日（月曜日）
開会 午後5時30分～ 閉会 午後6時26分
2. 場 所 小規模多機能型居宅介護松ぼっくり
3. 出席者 遠藤春夫 三上長治 永野やすえ 阿部幸 石村要
（委員総数6名中5名出席）

松ぼっくり
吉田所長 桜井忍

社会福祉協議会
曾根課長

欠席者 欠員1名

1.開 会

2.協 議 （要旨）

① 利用状況

- ・ 現在18名登録。女性14名、男性4名。
- ・ 要支援1 1名 要支援2 0名 要介護1 12名
要介護2 2名 要介護3 2名 要介護4 1名
要介護5 0名

（資料を詳しく説明した）

② 運営状況

- ・ 10月から登録者数は18名と変わっていない。病院からの問い合わせが比較的多いが、契約には結びついていない。
- ・ 要介護1の方の割合が多い。訪問サービスのニーズが多くなっている。

- ・ 11 月頃は職員体制が整わず、現状サービスを維持するのが精一杯だった。
- ・ 2～3 月は体調不良者が多かった。1 名は脳梗塞を発症し入院中で、在宅復帰は難しい。高齢夫妻だったので、これからは独居をどう支えていくかが課題。別の 1 名は圧迫骨折の疑いで、歩ける状況に戻れるかどうか分からない。家族の負担が大きくなるので、在宅は困難かもしれない。
- ・ 2 月の問い合わせは 4 件。実際に見学された方もいた。
- ・ 12 月と 1 月に新職員の配属があった。

(桜井介護員を紹介した)

③ ケース報告

(徘徊のある Y 様の状況)

- ・ 利用開始時は徘徊癖があったが、ここにきて落ち着いている。臨時の宿泊等も柔軟に受け入れて家族を支援している。

(夕方不穏になる M 様の状況)

- ・ 月曜～金曜で連日利用している。ご家族が送迎を担っているのを助かっている。退院後、しばらくして元気を取り戻したが、夕方になると帰宅願望が強くなる。突然立ち上がることもあり、支えないと危険である。夕方の時間帯は職員も手薄であり、残業で対応している。小規模多機能型居宅介護事業所として柔軟にニーズに対応していきたい。

(永野委員)

先日の地震の時は、どうだったか？

(吉田所長)

大松澤主任が宿泊担当で、冷静に対応していただいた。利用者の混乱もなかった。施設内は食器が倒れるくらいの被害で良かった。その利用者は独居で「独りでいる時に地震があったら不安だ」と言われていて、今は月～木曜で宿泊している。

④ その他

(吉田所長)

外部評価の件、事前に職員が自己評価を行って、委員に見ていただいた。それを踏まえた上で、地域かかわりシートの記入をしていただいたとこ

ろだが、自分も初めてで理解ができていないので経験のある委員の皆様より助言をいただきながら、この場でチェックしていく。

「A.自己評価の確認」のところで、事業所としてできていないところがあったか？

(石村委員)

常勤スタッフ全員で自己評価に取り組んだのを確認できたか？の質問で「いいえ」を付けた。コロナ禍で出勤できない方もいたようだったので、全員とは言えないと思った。また、A-4で「改善計画が立てられているか？」のところも「いいえ」とした。「次回までの具体的な改善計画」の欄が空欄になっていたからだ。

(吉田所長)

ここの記入も悩んだ。昨年、コロナの影響で運営推進会議が開催できず、自己評価のみで、外部評価はすることができなかった。次回の計画については、今日の運営推進会議が終わってから記入するつもりだったが、記入してから配付するべきだったかもしれない。

(石村委員)

下から2番目の「できていない点」を基に改善計画を記入するとよい。その他、「いいえ」と評価したところはない。

(阿部委員)

「わからない」となる部分が多い。

(吉田所長)

その通りだろう。チェックしづらかったと思う。会議が開催されず、提供した情報量が少なかった。「B.しつらえ」での評価はどうか？

(石村委員)

入りやすいかどうかの判断。地域の方の評価はどうか？

(永野委員)

入りやすいと思う。バスを待っている人もチラチラ気になっているようだ。

。

(吉田所長)

「C.事業所と地域のかかわり」ではどうか？

(石村委員)

概ね、できていると思う。スタッフの雰囲気もいいし、地域の方々にも

知られている。ただ、No.4「地域の行事やイベントに参加していますか？」については、コロナ禍で評価できない。

(阿部委員)

そう思い、No.4については「わからない」にさせていただきました。

(永野委員)

実際、地域では何の行事も実施していない。

(吉田所長)

社協の利点を活かし、常に保育園児との交流をしていたが、そういうのも全く実施していない。少しずつではあるが、利用者を図書館へ連れて行くなど、できることから始めてはいる。

(遠藤委員)

No.4については、記載のしようがなかった。1~2などについては、できていると思う。

(吉田所長)

「D.地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み」については、どうか？「わからない」としたところが多いのではないか？

(石村委員)

「事務所の中にだけに閉じ込めていないか？」の問いは、閉じ込めているようには感じられず、「はい」にした。

(永野委員)

閉じ込めていない場合、「はい」にするのか「いいえ」にするのか、迷う質問である。

(石村委員)

「はい」でいいと思われる。No.2の質問は、正にこの会議であるので、「はい」。

(吉田所長)

松ぼっくりの昼食は、感染防止対策を講じ、地域のボランティアに調理を支援していただいている。こちらも地域交流と考えている。今、ボランティアを受け入れている施設は大変少ないようだ。「E.運営推進会議を活かした取組み」については、どうか？

(阿部委員)

全てに「はい」としている。この会議で取り組もうとしている姿が感じられる。

(吉田所長)

「F.防災・災害対策」については、どうか？

(石村委員)

こちらから問いかけたことがなくて、「わからない」にした。

(吉田所長)

防災計画は策定されており、年 2 回の防火訓練も実施している。過去 2 年は、コロナがあって消防署の立ち合いはしていないが、消防設備管理会社の東洋防災には立ち会っていただき、スプリンクラーの仕組み等を学ぶ機会もあった。また、月に 1 回は火災や地震を想定した利用者参加の避難訓練を実施している。頭に頭巾をかぶっていただいている。リハビリも兼ねている。消防設備としては、自動火災通報装置を設置している。消防への通報と同時に職員への連絡網が作動し、電話でメッセージが流れる仕組みになっている。火災の場合は、全職員が可能なかぎり駆け付けるルールとしている。地震の場合は、要請があるまで自宅待機としている。

(永野委員)

近所の火事の際はどうか対応したのか？

(吉田所長)

宿泊職員が統括主任に応援を要請し、状況が落ち着くまで待機してもらった。No.3 の地域の方が松ぼっくりの防災訓練に参加することは、何年か前にはあったが、最近はやはりできていない。

(永野委員)

松ぼっくりは災害時の福祉避難所になっているのか？

(吉田所長)

なっている。先日の地震で、朝 4 時に市役所より「何人受け入れが可能か？」と問い合わせがあった。東日本大震災時は、実際に避難場所になり、20 名程が泊まっていた。

(永野委員)

あすなろも避難場所になった。沢山の人を受け入れ、福祉避難所として指定された。また、地域の方で寝たきりの人がおり、ヘルパーを利用していたが、派遣が難しい状況になった。家で煮炊きしたものを食べさせ

て何とか凌いだ。地域に福祉避難所があることは意義がある。その方の親族が1週間後にやっと来たが、「もう死んでいるのではないか」と思っていたようだ。

(遠藤委員)

福祉避難所という言葉は初耳だった。これは介護の必要な方が優先なのか？

(石村委員)

原則的に学校や体育館の指定避難所に避難していただく。一般の方と一緒に生活が難しい身体の不自由な方などがいる場合は、市から福祉避難所になっている施設へ受け入れの要請を行う。

(阿部委員)

市内でどれくらいあるのか？

(石村委員)

20施設くらい登録している。最初から身障者が福祉避難所に避難するのではない。それでは施設がパンクしてしまう。一旦は市の避難所に避難してもらい、必要な方に関しては健康福祉部が調整の上、福祉避難所に移動してもらう。

(阿部委員)

福祉避難所の施設も被災している可能性があり、そこは調整が必要。

(石村委員)

国は、福祉避難所をホームページ等で公表するよう求めている。ただ、そうしてしまうと殺到する可能性がある。検討しているところだ。

(遠藤委員)

杉の入小学校に避難したが、障害のある方は一般の方と別の部屋にする配慮をしていた。

(石村委員)

杉の入小学校は、運営が上手かった。

(永野委員)

携帯電話がつかない中、杉の入小学校の公衆電話に10円玉がいっぱい置いてあり、自由に使わせていた。感激した。

(吉田所長)

外部評価については、これでまとめる。次回はもう少し上手に進めたい。

(阿部委員)

「まるごと2地区」という広報紙を配布している。地域包括ケアシステムの地域の活動を紹介している。何か地域で活動する方々がいれば紹介をお願いしたい。

(永野委員)

地域ではないが、温水プールユープルの高齢者が元気だ。自分自身を鍛えているのが分かる。健康意識の高まりと思う。

(吉田所長)

清水沢グラウンドでもグラウンドゴルフ大会をやっていた。

(遠藤委員)

市老連主催の大会だ。自分も参加している。

(吉田所長)

利用者アンケートの結果を配付している。松ぼっくりに対して好印象の回答をいただくことができた。

(石村委員)

4月より市役所の組織名が一部変更となる。これまでの長寿社会課は高齢福祉課となる。部の名称も健康福祉部から福祉子ども未来部へ変更される。

次回 令和4年5月30日(月) 17:15～